

バイオマスタウン構想の実現に向けて (山武の森再生)

〈山武市地域新エネルギービジョン〉

市では森林を蘇らせるために、これまでの木質プラスチック利用や木炭利用の取り組みに加え、木質バイオマスの燃料利用を推進するために、平成20年度「山武市地域新エネルギービジョン」を策定しました。「森の再生」に向けて、50年先、100年先まで見据えたビジョンとなっており、森林・林業の活性化に向けて、木質バイオマス利用を進めることとしています。この取り組みとして本年度は市内小中学校や公共施設へのペレットストーブ導入とペレット製造を行います。

〈山武の森再生計画推進協議会〉

上記ビジョン策定にあたり各分野の専門家による山武市地域新エネルギービジョン策定委員会を立ち上げましたが、この委員長であった千葉大学 中込教授を中心として「山武の森再生計画推進協議会」が、平成21年6月に発足し、ビジョンに示された事業を推進する体制を整えています。同協議会では、産学官が協力して「山武の森再生」に向けた連携を進めるとともに、市民が積極的に関わりを持つことを中心に置き、多角的に事業化に向けた議論を展開する事としています。

〈パートナーシップ協定の締結〉

市では、この体制を確かなものとし、ビジョンのコンセプトである「森と生きるまち さんむ」の実現を図るため、8月24日、木質バイオマスの有効活用による森の再生と地域活性化に向け、山武の森再生計画推進協議会とパートナーシップ協定を締結しました。

この締結により、山武市では森林を中心としたまちづくりを協議会と推進することとなります。



〈エコメッセ2009 in ちば 「千葉の里山・田舎暮らし物産展」 出展〉

9月6日に幕張メッセで開催されたエコメッセ2009 in ちばにおいて「千葉の里山・田舎暮らし物産展」が開催され、山武市からは特産品であるサンプスギの木工品とサンプスギを原料とした木質バイオマスプラスチック製品を出品し、サンプスギのPRと製品販売を行いました。



伊勢丹新宿本店において開催された「彩り祭」において、サンプスギを活用したディスプレイを展開しました。（詳細記事はP. 4に掲載）